

NO. 27

情報ステーション

しろやま



明けまして
おめでとうございます。
今年もよろしく
お願いいたします。



日の出の大谷寺と御止山

きれいなまちを目指して

～城山地区不法投棄監視パトロール～

10月15日(日)に地区内の自治会長やリサイクル推進員、市、警察など約50名が参加し、不法投棄監視パトロールが実施されました。

城山地区市民センターに集合したメンバーは「森林公園～鶴カントリークラブ～多気山林道方面」と「明保通り～東北自動車道側道方面」の2班に分かれ、パトロール及び不法投棄ゴミの収集を開始、一見きれいに見える林道や側道も、ちょっと藪を覗けば大量のゴミが捨てられ、中にはスクーターや大型家電なども出てくる有様で、用意したトラックも見る間に満杯になってしまいました。



↑ここ、どこだか分かりますか？



パトロール終了後は参加者全員での意見交換会が行われ、不法投棄にはどういった対策が有効なのか、どうやったら減らしていけるのかなど、真剣で活発な議論が行われました。

城山地区は、豊かな自然環境や観光資源に恵まれた地域ですが、反面、不法投棄の通報件数が市内で2番目に多い地域でもあります。今後もこのようなパトロールなどを継続していくとともに、一人一人の心がけと具体的な取組みが重要であることを改めて実感いたしました。

悪戦苦闘!! ゴミとのデスマッチ

10月15日(日)、長坂自治会は全役員と地主1名の8名で、東北自動車道下り線側側道日和田橋以北の投棄現場清掃に当たりました。

現場は広い幅員でしたが、里山の木陰で人目につかぬ薄暗い、不法投棄には打ってつけの場



所であり、投棄物は側道だけでなく林の奥まで入り込んでいました。テレビ、電気釜、マットレス、照明器具、バッテリーなど、廃棄物処理費のかかる物と飲物、弁当などのゴミが多く、現地で分別しながら作業がすすめられました。荒熊手でゴミを寄せると後から後へと空き缶やボトルが顔を出し、開通以来のゴミかしらと首をひねる一幕も。

かくして集めたゴミだけで40袋と粗大廃棄物の山は市のトラックで処理場へ。作業後の現場はこんなにキレイになったのですが……10日程経って通ってみたら虎ロープの囲いも何のその、またも捨てられている新たな投棄ゴミに、息を殺して機会を窺う投棄犯の姿が頭をよぎります。

(通信員：沢井 勇)



県道70号線の早期の歩道設置を要望しました。

10月20日(金)、コミュニティ協議会は、連合自治会と連名で、道路管理者である栃木県土木部に対し、県道70号線(大谷橋から田野町東交差点までの区間)の早期の歩道設置を荒針自治会住民の署名を添えて要望しました。当日は、土木部長をはじめ、県の関係課長と道路・交通の現状や道路整備の考え方など意見交換も行いました。



深まる 地域と 学校の絆



全児童によるお琴の演奏

学校の統廃合という大きな課題の中で、地域と学校は一体となり、小規模特認校として、学校と地域の魅力化を図っています。

特に、地域では春の「孝子桜まつり」、秋の「古賀志の秋祭り」や給食農園での野菜づくりなど、地域の英知を集めて学校支援を行い、今年度「下野ふるさと大賞」と「地産地消夢大賞」を受賞しました。今、子供たちの心に「ふるさとを愛する心」が地域の熱い思いを受けて着実に広がりつつあると確信しております。

(城山西小学校)

城山地区（明保小学校区）防災訓練を開催します

知っていますか？

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、生き埋めになったり、建物などに閉じ込められた人のうち、専門の救助隊に助けられたのはわずか約2%。残りの約98%は、自力や、家族又は隣人・友人などの地域の人々によって救助されました。このことから、大災害への備えがいかに大切かが分かります。

備えあれば憂いなし

大災害が発生したとき、各地で多発する被害に対して公的機関が充分に対処できないことを考えておかねばなりません。

いざというとき、被害を最小限に抑えるためには、地域住民による防災活動が必要になります。城山地区防災会では、今後大災害時の備えとして防災知識と任務分担を身につけることを目的として、避難所を中心とする小学校区単位で防災訓練を実施することに致しました。

本年は、明保小学校地区で実施することになり、自治会の皆さんはじめ小学児童多数の参加で災害時での備えを身につけたいと考えております。

是非皆さん、ご参加(見学)ください!



実施要領

日時：平成19年1月28日(日)
午前8時50分から午後0時10分まで
場所：明保小学校体育館及び校庭
主な参加対象自治会：野尻・金沢・長坂・下飯田・西の宮自治会
(編集部取材)

野尻のいきいき集い



会食を楽しむ、参加者たち。

「敬老の日」が1年に1回だけでは少な過ぎる。私たちの野尻では、毎月1回、15日に、65歳以上の皆さんを公民館にお招きして“いきいき集いの日”を設けております。

「野尻いきがい塾」と名づけて、民生委員や老人クラブが主催し、自治会の援助を受けて、50円会費で楽しい行事や、話し合い、会食などを行っております。

すでに3年を経過しました。集いで何をやるかは、心やさしい幹事の皆さんの相談によってきめられ、回覧で周知されます。

今までの行事としては、引きあげうどんを作って食べたり、映画「石山の歌」を上映して観賞したり、牛乳パックで椅子を作ったりしております。「来月は何をやるのかしら」と、楽しみに待っていただいているファンもできて、4年目が滑り出そうとしているところです。

(代表 阿部 久雄)

ウイルス対策

風邪とインフルエンザの予防策!!



- * 必ず、外出後の手洗いとうがいをしましょう。
- * マスクを着用しましょう。
- * 栄養と休養を十分にとりましょう。
- * 適度な湿度・温度を保ちましょう。
- * 人ごみは避けましょう。

※ 確実な予防は流行前に接種することをお勧めします。(通信員：平井 啓子)





フォトスナップしろやま

(城山地区の秋の行事)

若い者には負けんヨ!

～老人クラブスポーツ大会～

10月15日(日)、城山中央小学校校庭を会場に、城山地区老人クラブ連合会主催のスポーツ大会が開催されました。

約350人の参加者は、秋晴れの空の下、皆元気一杯気持ち良い汗をかきました。



一等賞は気持ちええもんじゃ



スポーツは健康の秘訣!

2006 JAPAN CUP CYCLE ROAD RACE 開催! <10月21日(土)・22日(日)>

その興奮は日の出前からすでに始まっていた。近くのコンビニでは観戦に必要な物を買求める人でいつもにない賑わいを呈していた。周回数が増すに従い、メインエリアには、今年から有料になったにもかかわらず、自転車ロードレースが好きという共通項を持った人々がその最後の感動を共に味わう為に集まって来た。プロの選手が宇都宮のジャパンカップをツール・ド・フランスの登竜門的位置付けに考え参加してくれる事に感謝したい。



延べ6万人の観衆の中を疾走する選手たち

山を登る力強さに声援を送り、急坂をまさに風になって下り行く姿に息が止まり見入ってしまった。

さわやかな23才の青年の優勝で幕をおろした今年の大会、のどかな宇都宮の秋が、熱く連帯感を共有できた時空間に変わった1日だった。地元から盛り上げ、胸を張って日本中に誇れる行事の1つと考えたいと思う。

(福岡町 高橋 ともみ)

秋の大谷は楽しさいっぱい!

～フェスタ in 大谷 2006～

10月28日(土)・29日(日)に、大谷景観公園をメインに、多気山持宝院、城山地区市民センター、旧大谷公会堂、多気山シンボルロード等を会場に、今年度で7回目となるフェスタ in 大谷が開催されました。

地元の子どもたちも多く参加、来場者は2日間で25,000人を数え、今年も大いに盛り上がりました。



よさこいは会場いっばいにひろがり、フィナーレをかざった



スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋を満喫！

～城山地区体育祭、文化祭・農業祭～

第51回目となる城山地区体育祭が10月8日(日)に城山中学校を会場に行なわれ今年も大いに盛り上がりました。

また、11月3日(金)・4日(土)、城山地区市民センターを会場に平成18年度の城山地区文化祭・農業祭が開催されました。

参加者・出演者からたくさんの新しい企画も出され、今年も大勢の来場者で賑わいました。



城山特産の野菜はいらんかね～



体育祭の華、名物「城山競輪」で息もたえだえ!!

城山地区戦没者追悼式

10月25日(水)、大谷公園にて平成18年度の城山地区戦没者追悼式が行われました。



今年も元気で楽しい1日でした!

～ひとり暮らし高齢者「一日憩いのつどい」～

11月22日(水)、城山地区社会福祉協議会と民生委員児童委員協議会の共催により、今年度で18回目となるひとり暮らし高齢者「1日憩いのつどい」が芳賀町の上延生ヘルスセンターで行われました。

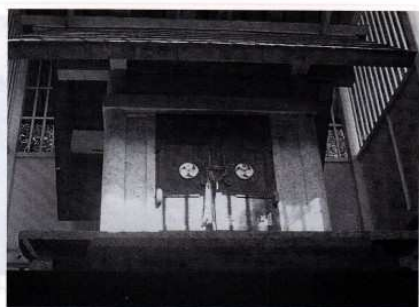
約60名の方が参加し、会食やカラオケなどに興じ、楽しい1日を過ごしました。



受話器の向こう側からこぼれる叫びに耳を澄まし続けて ～青少年育成会講演会～

昨年実施した“夜回り先生”こと水谷修先生の講演会「魂の叫び、聞こえますか」に続く第2弾で「子どもたちからのメッセージ(声にならない声、言葉にならない言葉)が聞こえますか?」と銘打って、並木敏和先生(チャイルドライン支援センター理事長(子どもの電話相談室))の講演会をビデオプロジェクターによる映像を含めて開催いたしました。

今、悩み多き子どもの声を聞くことの大切さ…並木先生の講話にもある真実を目の当たりにして“子どもたちからのサインを見逃さないようにする”必要性を実感した次第です。(青少年育成会 前原 幸三)



水稲栽培と雷さま

「城山地区の雷神信仰」

平成18年度は、旧城山村の総鎮守である「戸室山神社」を、3回ほど伝統と文化と学習という冠のついた行事に同行して解説するという機会を頂戴しました。

『全山…下から上まで大谷石で出来ています』という、聞く人は、「そんなことは、初めて聞きました」という。学術上、はっきり言える何年ぐらいのことか、質問されることが多いのですが、**写真は戸室山神社の神殿。大谷石造り、大谷石の誕生は2500万年前のころのことだと言われています。終戦後城山中央小の奉安殿を解体移築。これが4000万年前のことだと誰かが訂正しても、どちらが事実**

に近いのかさっぱりわかりません。とにかく古い時代からこの「戸室山」は存在し、そこに「神社」が建立されました。何時ごろ、誰が、どういう理由で、この場所をえらんだのか、これらのことが全部わからないのです。しかし、「神社」があり、どういう「神様」を祀っているのかということは、わかっています。古事記とか日本書紀に「神話の中の神様」として紹介されている神様の1人（一柱といいます）です。名前は省略しますが、何を担当する神様でしょうか。農業の神様、山の神様、田の神様です。特に、ここでは、**雨乞いをする、必ず願いを聞いてくれる神様**ということです。旧城山村は、駒生・荒針・田下・田野・飯田・古賀志…の旧大字から構成されています。合併前は、それぞれが村でした。その時代の時に、村ごとに村の鎮守がありました。それぞれの村社の守護神を調べてみますと、どこも農業の神の部分共通で、下荒針では耕地の東と西で、海の神様…琴平神社を四国まで行って、勧請（神様にきてもらう）しています。現在は治水工事の堤防が完成しています。水害の心配は赤川の沿岸では無くなりましたが、これが完成するまでは、台風のシーズンには、この流域は水害や洪水に見舞われ、どこの農家も「床下冠水」などで大変だったと思います。雨乞いも御願いたい、しかし、長雨の時は、洪水にならぬよう一生懸命、お祈りをして頼んだのだと考えます。伝統を守り、古いしきたりを保存し、孫子の代に伝承していく、そういうことも熱心な城山のことの一部をお話しました。 **宇都宮市文化財解説・観光ガイド 永森 庄二**

「情報ステーションしろやま」の
企画編集員・通信員を募集しています

城山地区コミュニティ協議会が発行している当紙「情報ステーションしろやま」の編集作業や記事の取材などを手伝っていただけるスタッフを募集しています。年齢・経験等は不問です。是非、ご連絡ください。



問い合わせ先：城山地区市民センター内
「情報ステーション しろやま」担当まで

編集後記

企画編集員も高橋氏の参画を得て、平井氏、太田と強力なスタッフ編成となりました。

兎にも角にも「読んでいただける」紙面づくりを目指しています。

編集内容等につき、ご意見等がございましたら、是非、下記までご連絡ください。

今年もよろしくお願いいたします。

企画編集員
太田光彦（西の宮自治会）
平井啓子（上駒生自治会）
高橋立志（城山地区青少年育成会）

城山地区ホームページが楽しい！

毎月更新されている城山地区のホームページはご覧になったことがありますか？

城山の楽しい情報満載ですので、是非、アクセスしてくださいね。

【ホームページアドレス】<http://www2.ucatv.ne.jp/~shiro333/>



城山地区の人口（平成18年12月1日現在）

- 総世帯数 8,754 世帯 ● 総人口 23,325 人
- 男：11,539 人 女：11,786 人



編集・発行

城山地区コミュニティ協議会
〒321-0345 宇都宮市大谷町 1059 番地 5
宇都宮市城山地区市民センター内
TEL 028-652-4794 FAX 028-652-5570